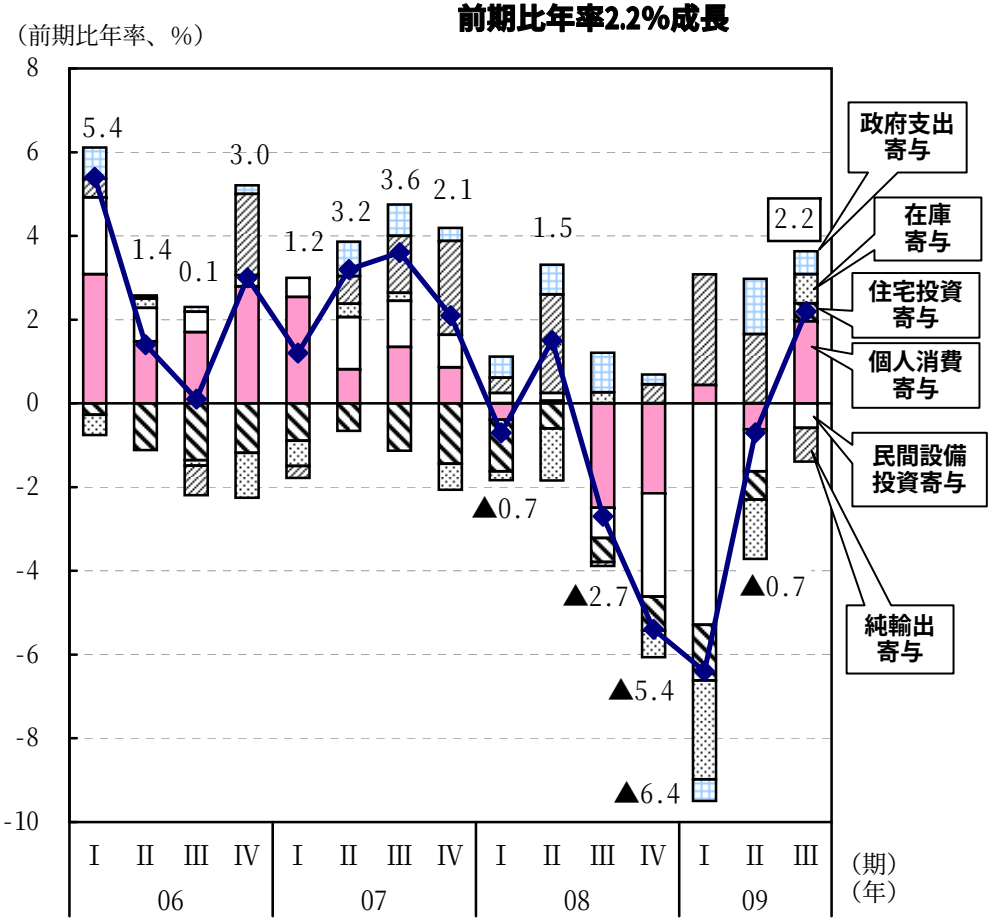
１．アメリカ

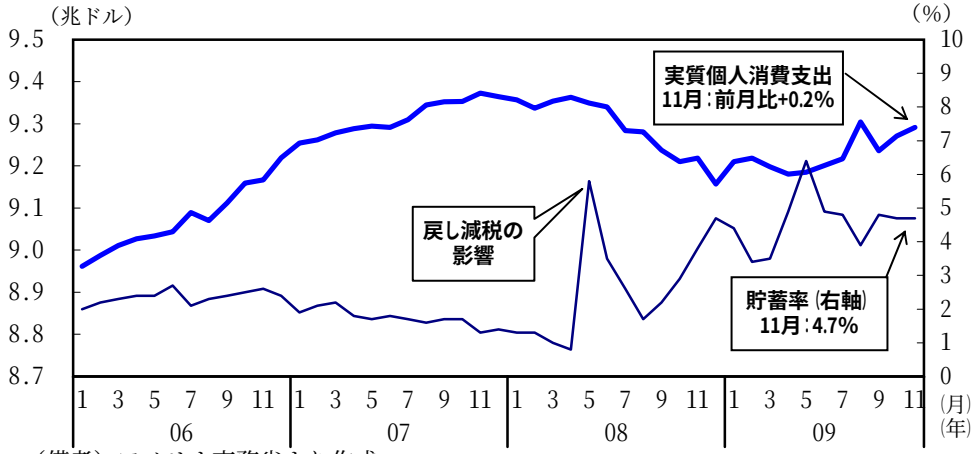
○アメリカでは、失業率が10%近傍で推移するなど、引き続き深刻な状況にあるが、政策効果もあり、景気は緩やかに持ち直している。
○先行きについては、基調としては緩やかな持ち直しが続くと見込まれる。ただし、信用収縮の継続や雇用の悪化等により、景気が低迷を続けるリスクがある。

ＧＤＰ（第三次推計値）：2009年７～９月期は前期比年率2.2%成長



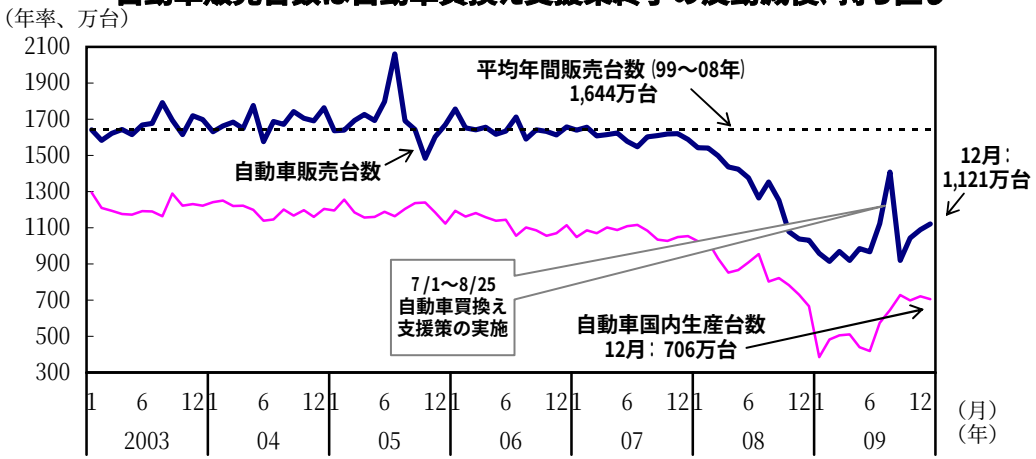
（備考）アメリカ商務省より作成。

消費：消費は政策効果による下支えもあり、緩やかに持ち直し



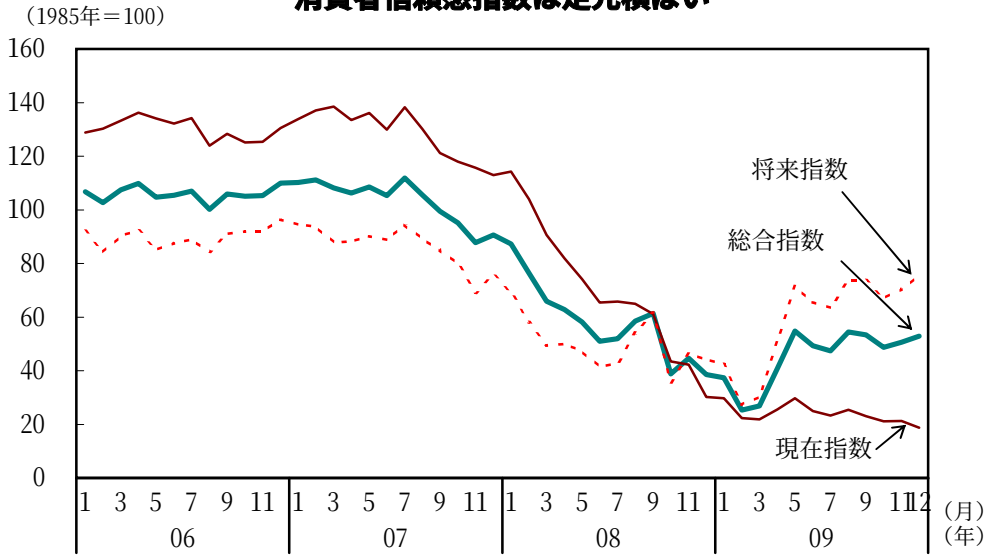
（備考）アメリカ商務省より作成。

自動車販売台数は自動車買換え支援策終了の反動減後、持ち直し



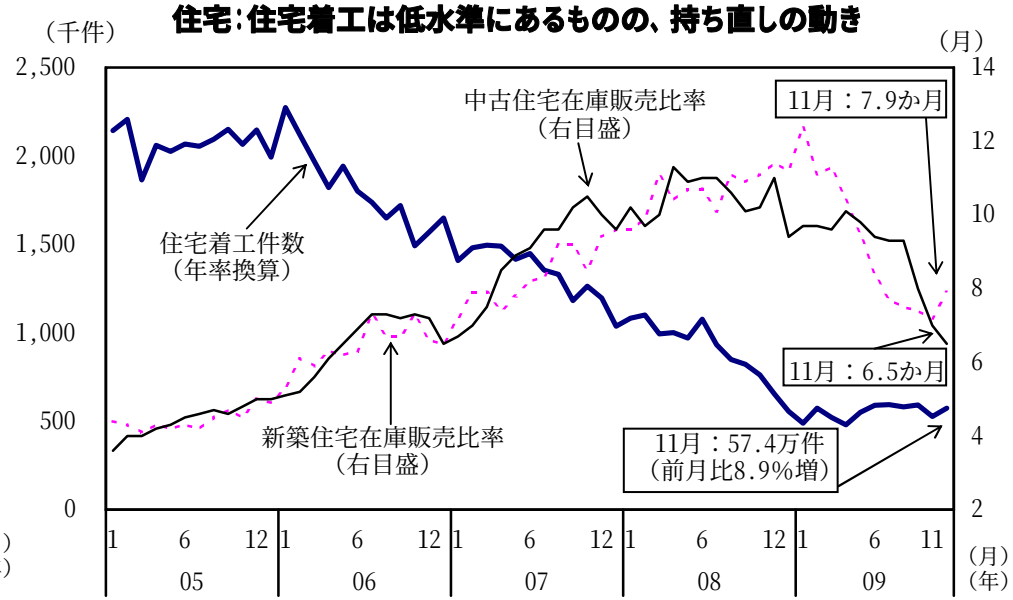
（備考）1．アメリカ商務省、連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）より作成。
2．７月１日より、燃費の悪い中古車を下取りにして、低燃費の新車に買い換える者に対して購入額の割引（3,500ドル（約34万円）又は4,500ドル（約43万円））を行う措置を実施。当初予算額は10億ドルとされていたが、８月６日に20億ドル増額し、30億ドルとした。
3．当措置は申込みの殺到により、８月25日で申請受付を終了した。実績は約68万台。

消費者信頼感指数は足元横ばい



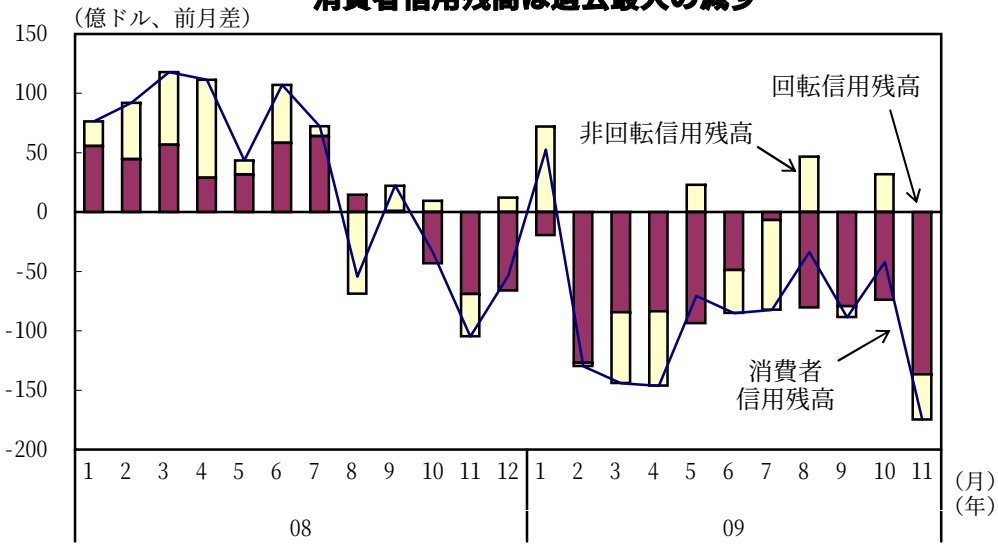
（備考）1. コンファレンス・ボードより作成。
2. 「将来指数」は６か月後の見通し。

住宅：住宅着工は低水準にあるものの、持ち直しの動き



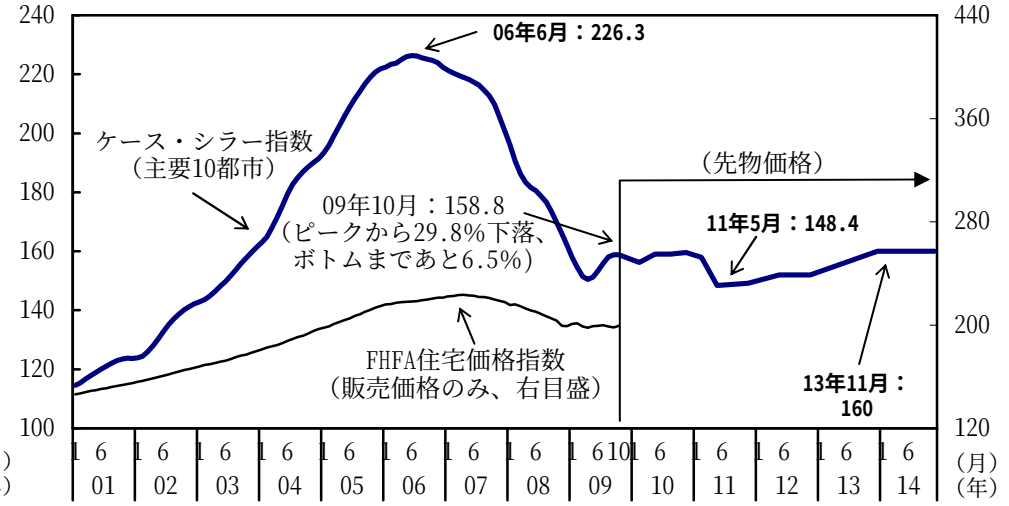
（備考）1. アメリカ商務省、全米不動産業者協会（ＮＡＲ）より作成。
2. 在庫販売比率は、現在の住宅販売に対して何か月分の住宅在庫があるかを示す。

消費者信用残高は過去最大の減少



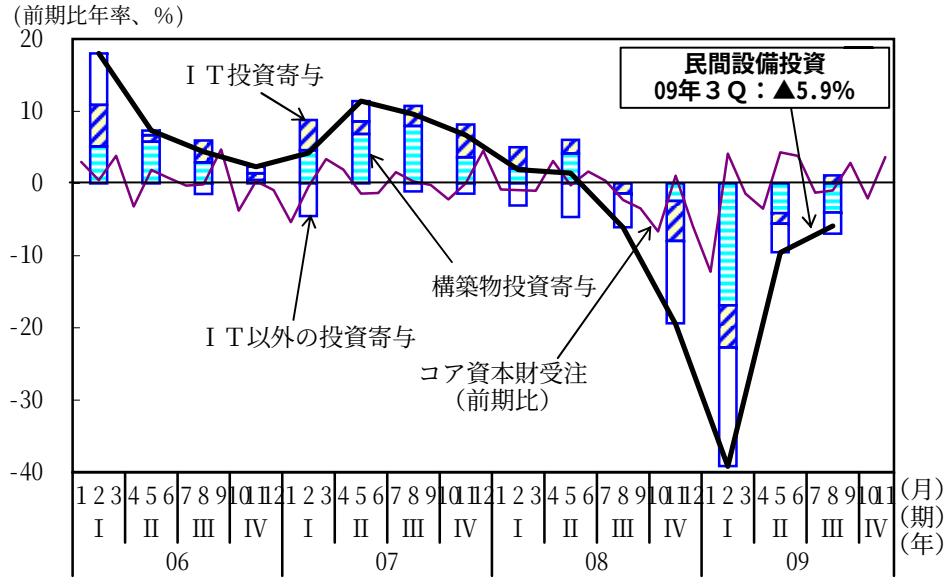
（備考）連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）より作成。

住宅価格指数は持ち直しの動き



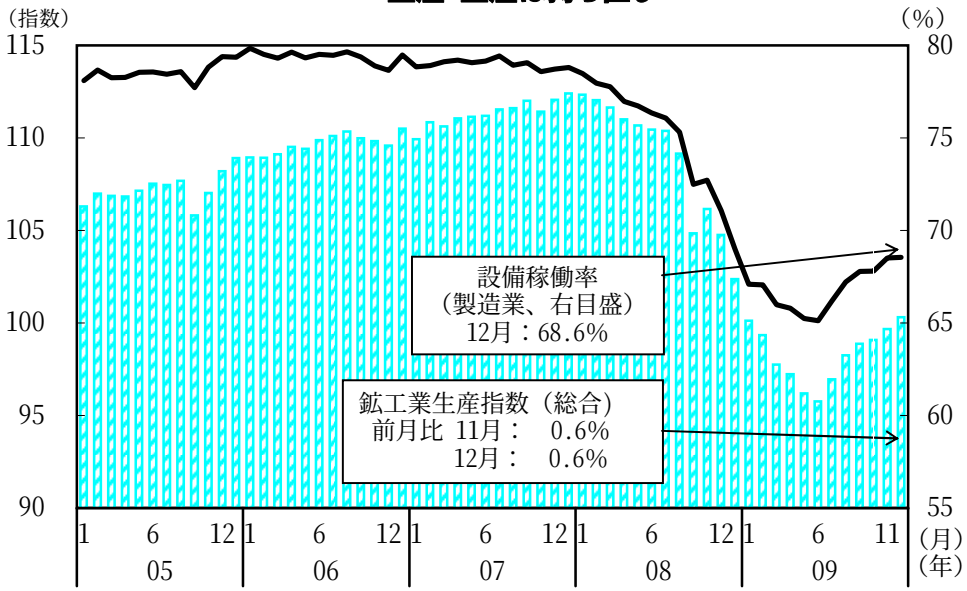
（備考）1.アメリカ連邦住宅金融局（ＦＨＦＡ）、スタンダード・アンド・プアーズ、
シカゴ商業取引所（ＣＭＥ）より作成。
2.ケース・シラー指数の先物価格は、1月18日現在。

設備投資：設備投資は下げ止まりの兆し



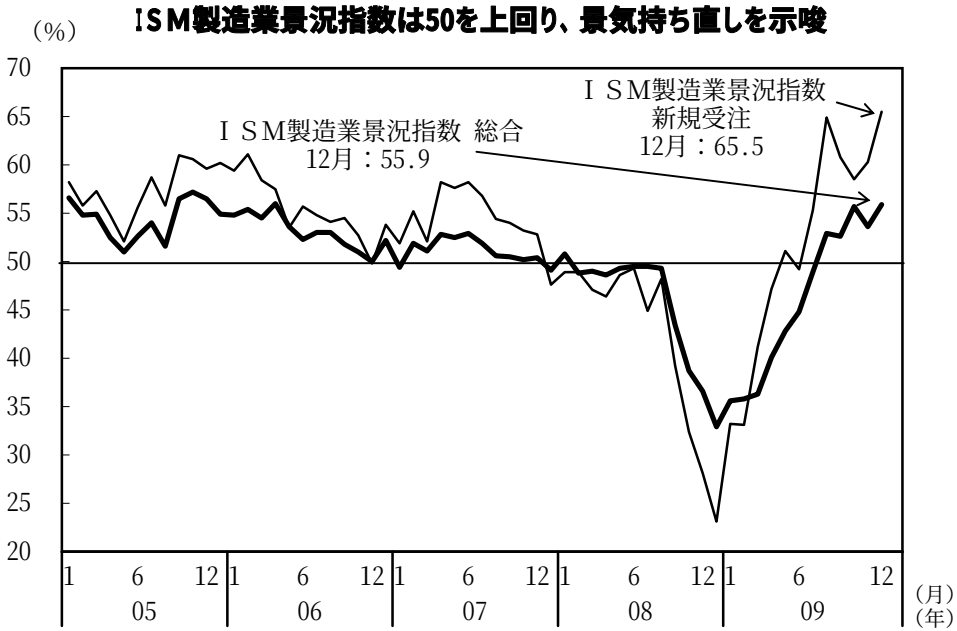
（備考）アメリカ商務省より作成。

生産：生産は持ち直し



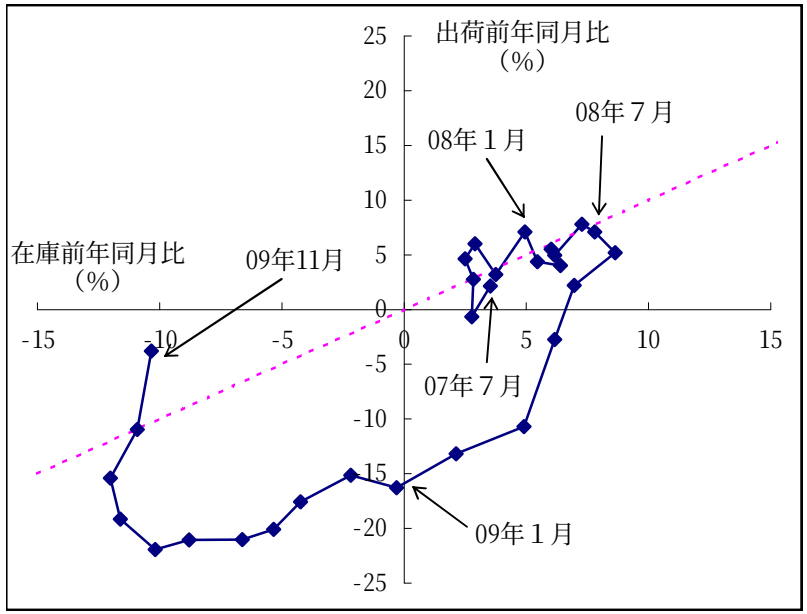
（備考）連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）より作成。

ＩＳＭ製造業景況指数は50を上回り、景気持ち直しを示唆



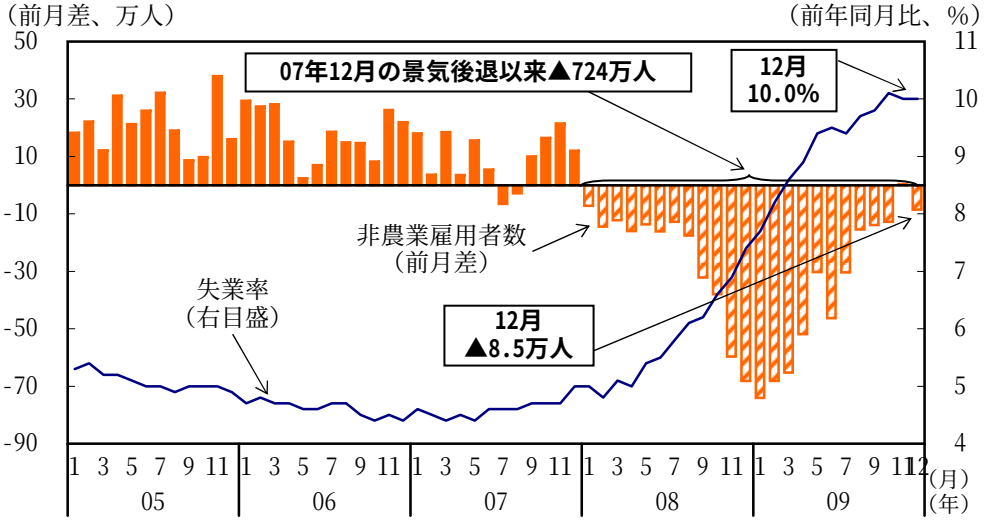
（備考）全米供給管理協会（ＩＳＭ）より作成。

在庫循環図（製造業）



（備考）アメリカ商務省より作成。

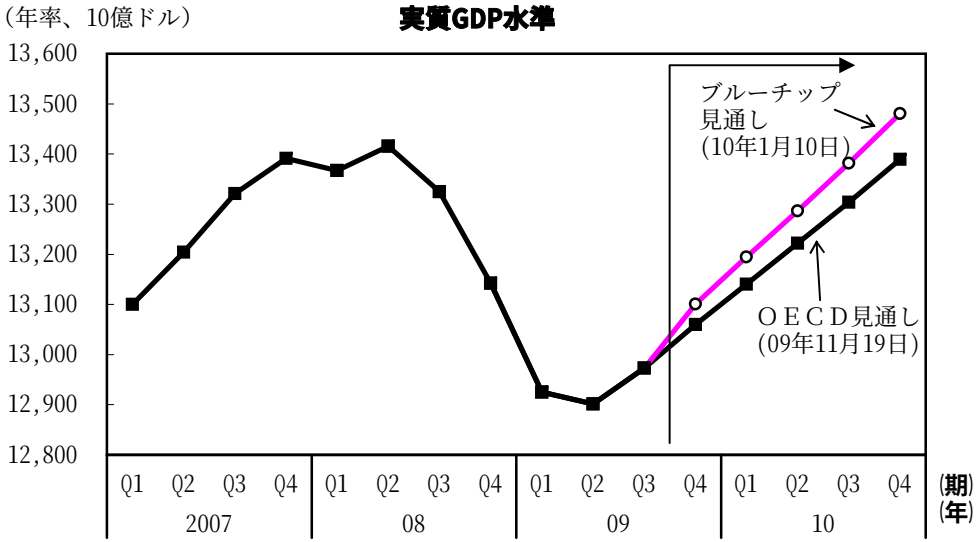
雇用：雇用者数は減少幅が縮小傾向にあるが、失業率は10%近傍の高い水準



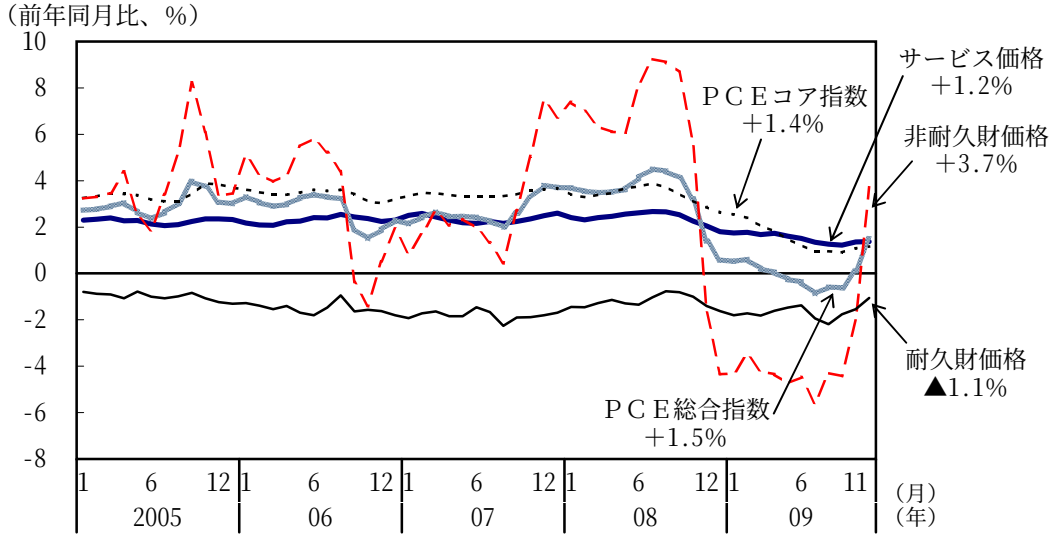
（備考）アメリカ労働省より作成。

主要国際機関等による見通し

実質GDP水準



物価：コア物価上昇率は安定



（備考）1. アメリカ商務省より作成。
2. コア指数は、総合指数からエネルギーと食料を除いた指数である。

実質GDP成長率

（前期比年率、%）

	09年	10年			
	IV	I	II	III	IV
OECD	2.7	2.5	2.5	2.5	2.6
ブルーチップ	4.0	2.9	2.8	2.9	3.0

（前年比、%）

		2009年	2010年	2011年
行政管理予算局（OMB）（8月25日）		▲ 2.8	2.0	3.8
議会予算局（CBO）（8月25日）		▲ 2.5	1.7	3.5
OECD(11月19日)		▲ 2.5	2.5	2.8
IMF（10月1日）		▲ 2.7	1.5	-
ブルーチップ（民間見通し）（1月10日）	上位10社	-	3.4	3.9
	平均	-	2.8	3.1
	下位10社	-	2.2	2.1

（備考）アメリカ商務省、アメリカ行政管理予算局（09年8月25日）、アメリカ議会予算局（09年8月25日）、OECD "Economic Outlook 86"(09年11月19日）、IMF "World Economic Outlook"（09年10月1日）、ブルーチップ・インディケータ（10年1月10日号）より作成。